



# 決算審査 特別委員会

## 平成30年度各会計の決算を認定しました

平成30年度決算特別委員会が、8月30日・9月17日・18日に開催され、一般会計、4特別会計、2公営企業会計について審査を行い、9月24日の本会議において認定・可決されました。

### 平成30年度 太宰府市歳入・歳出決算

単位:円

会計別	予算額	歳入		歳出		差引残額	
		決算額①	執行率	決算額②	執行率	①-②	
一般会計	26,823,721,518	24,478,626,150	91.3%	23,541,150,381	87.8%	937,475,769	
特別会計	国民健康保険事業	7,469,730,000	7,358,519,483	98.5%	7,250,496,842	97.1%	108,022,641
	後期高齢者医療	1,200,055,000	1,244,524,622	103.7%	1,191,861,472	99.3%	52,663,150
	介護保険事業	5,180,964,000	5,075,461,412	98.0%	4,977,880,160	96.1%	97,581,252
	住宅新築資金等貸付事業	1,451,000	2,184,042	150.5%	1,312,821	90.5%	871,221
合計	40,675,921,518	38,159,315,709	93.8%	36,962,701,676	90.9%	1,196,614,033	

### 平成30年度 公営企業会計歳入・歳出決算

単位:円

会計	科目	予算額	決算額	執行率
水道事業	収益的収入	1,481,075,000	1,467,987,873	99.1%
	収益的支出	1,292,500,000	1,240,491,395	96.0%
	収益的収支		227,496,478	注①
	資本的収入	54,052,000	47,458,120	87.8%
	資本的支出	707,912,000	662,236,776	93.5%
	資本的収支		▲614,778,656	注②
下水道事業	収益的収入	1,878,856,000	1,838,703,905	97.9%
	収益的支出	1,436,512,000	1,408,253,545	98.0%
	収益的収支		430,450,360	注③
	資本的収入	433,359,000	402,651,740	92.9%
	資本的支出	1,369,956,000	1,291,497,819	94.3%
	資本的収支		▲888,846,079	注④

注①  
純利益は、204,787,119円(税抜き額)

注②  
不足額614,778,656円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

注③  
純利益は、417,985,544円(税抜き額)

注④  
不足額888,846,079円は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

### 平成30年度 市債・基金残高

単位:千円

区分	H29年度末	H30年度末	増減額
市債	24,179,611	23,433,698	▲745,913
基金	4,953,692	5,020,848	67,156



# 太宰府市の お金の使い方をチェック



Q 庁舎管理費の光熱水費が、平成27年度から減少傾向にあることについて？  
A 自由化電力を導入した結果、競争入札による落札率の低下が影響していると考えます。



Q 指名競争入札による、建設工事、測量設計、物品及び役務委託の落札率は？  
A 建設工事が平均93%、測量設計が平均85%、物品が平均83%、役務委託が平均88%です。

Q 平成30年度の太宰府市の職員採用状況について、受験人数と採用人数は？  
A 一般事務A(大卒)の受験者327名に対して、採用者が6名でした。

倍率は  
55倍



Q ふるさと納税の収支結果について？  
A 寄附金額約7,000万円に対して、約4,000万円の委託手数料がかかりました。

Q ふるさと納税7,000万円に対して、太宰府市民が他市へ寄附した金額はいくらか？  
A 平成30年度の歳入に影響する平成29年度の寄附額は、約1億1,600万円になります。

Q 新元号令和を記念して作成した、クリアファイルの売れ行き状況について？  
A 3万部を作成し、約1万部が売れて作成経費は回収し、約2万部の在庫がある状況ですが、ふるさと納税の返礼品としても提供しています。

令和記念  
クリアファイル



Q 日韓関係が難しい中、大韓民国扶餘郡との姉妹都市交流の今後について？  
A 40年以上も続く姉妹都市交流であり、来年度以降も変わらずに交流を継続することを扶餘郡側と確認しています。



Q コミュニティバスの運行経費について、地域線2線の平均乗降客数と地元負担金について？  
A 湯の谷線が3.5名/便で約4万円の負担、連歌屋線が1.4名/便で約37万円の負担でした。



Q 「歴史と文化の環境税」の減少について？  
A クルーズ船の寄港数が前年度に比べ47隻減少しており、それに伴い大型バスが約4,500台減少しました。

Q 外国人住民の増加に伴う、市民サービス情報の多言語対応について？  
A 外国人の転入の際に外国人向けのパンフレットを配布しており、英語、韓国語、中国語、ベトナム語の4カ国語に対応しています。

Q 中学校ランチサービスが就学援助の対象となり喫食率はのびたか？  
A 平成29年度までは約7%でしたが、平成30年度は約10%になりました。



Q 国保におけるジェネリック医薬品適用の費用効果はどのくらいか？  
A 調剤全体で約1億5千万円の節減効果があったと考えています。



Q 後期高齢者医療特別会計の広域連合負担金が大きく増えた理由は？  
A 団塊の世代がいよいよ後期高齢者に移行したことが影響していると考えます。



Q 水道事業の中・長期計画について？  
A おおむね今後20年間は、現在の料金体系で運営できるものと考えています。